

第16回 大和高田市 口腔ケア研修会(医科歯科連携)開催報告



- 日時:令和5年9月7日(木) 17時30分~19時30分
- 場所:放射線治療棟 3階 大会議室
- 参加者:院外)合計 30名:歯科医師 19名 歯科衛生士 11名
- 院内)合計 30名:医師 2名 看護師 20名 ナーシングエイド 2名 管理栄養士 4名 ST2名
- Web)合計 44名+4施設
- 講師:東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔管理学分野 教授
東京医科歯科大学病院 オーラルヘルスセンター センター長

松尾 浩一郎 先生

口腔ケア用品についての説明の後、歯科医師、歯科衛生士、病院スタッフに向けて「多職種で取り組むオーラルマネージメント」をテーマにご講演いただきました。

まず、口と全身の関係についての説明がありました。口腔衛生管理をすることで、肺炎のリスクを低下させさせる事ができ、全身状態の悪化を予防ができる事と、フレイルを予防し、栄養が取り全身状態の管理ができることをお話されました。口腔ケアのチームアプローチについて、口腔アセスメントと手技の標準化による口腔ケアのボトムアップと、口腔ケアの困難症例の抽出と歯科依頼がしやすいような仕組み作りについてお話がありました。その中で、OHATを用いてアセスメントすることで、口腔環境を数値化、口腔問題を共通言語化でき、医療、看護と歯科の連携ツールとして利用できることを学びました。OHATは口腔を8項目(口唇・歯肉と粘膜・舌・唾液・歯・義歯・清掃状態・疼痛)をスコア3段階(0-2)で評価をし、2点以上は歯科に依頼するという評価ツールで、1項目ずつ、写真を用いて説明していただき、実際に評価していく際に分かりやすい内容でした。また、口腔ケアの方法も実際に説明していただきました。評価するだけでなく、早期に問題を発見し、歯科連携につなげていくことができること。標準化された手技で統一し、個人でケアの差がないことが大切であることを学びました。

アンケートからは「OHATを用いた歯科の評価や対策が勉強になった」「口腔ケアの方法、観察のポイントが勉強になった」「口腔ケアの方法は実践で役立てられると思った」「OHATでのアセスメントも実践したい」「口腔ケアの重要性を再認識できた」という感想がありました。

今回の講師に来ていただいた松尾先生は、YouTubeの監修や、多数の著書の執筆をされている先生で、当院に歯科ラウンドにお越しいただいている、やまもと歯科院長の山本伸介先生、歯科衛生士の方のご尽力により今回の研修会が開催することができました。

今後も定期的な歯科ラウンドを通して、適切な口腔ケアが提供できるように支援していきたいと思っております。



皆さま、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。